

実施期間	2021-2023	実用化開発場所	浪江町	連携自治体	浪江町
------	-----------	---------	-----	-------	-----

日産自動車株式会社

EV 普及社会に向けた多数設備電力制御の 低コスト化に挑む

浪江町の施策である「エネルギーの地産地消」と「ゼロカーボンシティ宣言」に貢献するため、既設の再生可能エネルギーとEVを活用し、100%RE化を実現するエネマネシステムの実用化開発を目指します。



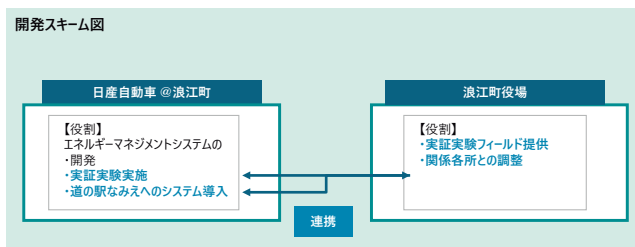
総合研究所 EVシステム研究所
主任研究員
鈴木 健太

※RE=再生可能エネルギー

開発背景 再生可能エネルギーの発電設備は、天候により電力余剰や電力不足が発生します。効率的な再生可能エネルギーの普及・活用には電力の一時貯蔵とその最適な運用が必要であり、電力制御技術により解決を図ります。

実用化開発の目標	実用化時期	令和5年度(2023年度)
	販売製品・サービス名	(仮称)EV充放電マネジメントシステム
	成果物(最終年度)	複数需要家を連携可能なEV充放電マネジメントシステムの実用化
創出される経済効果	浪江町の地元電気工事業者によるエネマネシステムの構築・保守体制を構築し、地元雇用の拡大、及びシステムを構築・運用するスキルの養成を狙います。	

開発のポイント	要素技術	制御対象の充電状態を監視する必要なく、複数のEV充電が自動で最適優先順位となる「同報送信技術」、「自律分散制御技術」
	開発のポイント	従来避けられなかった制御対象の増加に伴う中央制御の通信・演算負荷、コスト増加が、本開発技術を用いることで負荷・コスト増加なく実現できます。



浜通り復興に向けたメッセージ

本事業を進展させ、浪江町をはじめ浜通り地域のエネルギー利用の効率化、カーボンニュートラルに向けた取組みに貢献できるよう邁進して参ります。

浜通り地域への経済波及効果	雇用数	実績	-
		今後の予定	-
	地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	1件(浪江町)
		R&D・開発	-
資材調達		本開発に要する資材の調達、施工、機器・施設リースは地元企業へ発注	
製造	-		
販路開拓	-		

これまでに得られた成果	成果品・試作品	EV充放電マネジメントシステムの初号機(エネマネ機器の仕様策定、エネマネアルゴリズムの初期検討を実施)
	知的財産権	-
	開発技術	・同報送信を用いたEV充放電制御技術 ・車両ユーザビリティを踏まえたEV充放電制御技術
	自治体との連携実績	浪江町(電力データ提供、検証環境準備およびEV利用状況分析への協力)
	代表的な企業との連携実績	-
	メディア露出や受賞歴	・弊社ホームページでの取組み紹介 ・同内容のニュース記事多数あり

連絡先

日産自動車株式会社 |
福島県双葉郡浪江町権現堂上続町1-1
カーニバルステーションビル2階201, 202号室
☎ 0240-23-5552 (担当: 斎藤雄二)
✉ saito-y@mail.nissan.co.jp



投資規模	1~5億円
開発人数	10~29名
販売時期	令和6年度(2024年度)
販売形態	RE100 企業等の電力需要家に対しパッケージとして提供
販売見込先	2社
協業希望先	電気工事会社、BEMS/CEMS メーカー